

SQL 文自体に対するコメント句の記述方法 /* */

SQL 文には、その内容の説明などのためにコメントを記述させることができる

コメント句の記述方法

SELECT 句の記述後に、/* と コメントを記述し、最後に*/でコメント句を閉じる

```
Select /* <コメント句> */ 出力列 From テーブル
```

コメント句の使用目的

1. Select 文が処理をしている内容の覚書

```
select /* MEMBER OF PRINCESS AT HOME */
```

2. V\$SQLAREA ビューの中から目的の SQL 文を検索しやすくなるように、検索対象文字列の挿入

```
select /* Step. 4-1 */
```

3. 下に示すように、実行するたびにオプティマイザが新たな SQL 文と認識し、ハードパース（実行計画の解析処理）を行わせる

```
select /* YMMDDHH24MISS */
```

ヒント句（参考情報）

Select 文のテーブル検索順やテーブル結合方法を指定するために、ヒントを記述することができる

SQL 文を毎回ハードパース（実行計画を作成させる）する方法

【ヒント句】

実行する SQL 文で、実行時にダイナミックサンプリングさせるためには、DYNAMIC_SAMPLING ヒント句を記述する

ただし、**ダイナミックサンプリングは**、オプティマイザが、SQL 文の**ハードパース**（SQL 文の解析と実行計画作成）**を行う時のみしか行われない**

【コメント句】

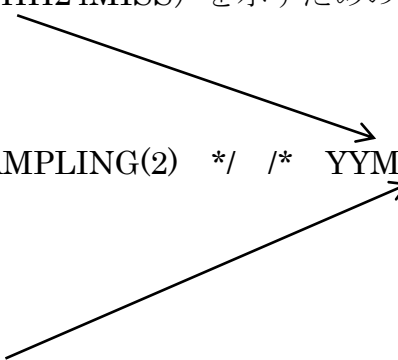
SQL 文を毎回ハードパース（SQL 文の解析と実行計画作成）させるためには、SQL 文の中に時間情報を示すコメントを記述する

こうすることによって、毎回 SQL 文の記述内容が異なるようになり、オプティマイザが別の SQL 文と認識して、ハードパースが行われることになる

時間情報（YYMMDDHH24MISS）を示すためのコメント

例)

```
select /*+ DYNAMIC_SAMPLING(2) */ /* YYMMDDHH24MISS */  
  出力列  
from user_table1  
where ~~~ ;
```



これが、実行のたびに現在時刻に置き換えられる

このことにより、オプティマイザが毎回ハードパース（実行計画の解析処理）を行う
そして、その結果使用するオブジェクトに対して、ダイナミックサンプリングが行われる

記述方法（ヒント句）

```
/*+ DYNAMIC_SAMPLING( 表名 パラメータ ), . . . . . */
```

DYNAMIC_SAMPLING での指定パラメータ

ヒント句を使った場合の実行計画表示例

```
explain plan for

select /*+ DYNAMIC_SAMPLING(E 2) DYNAMIC_SAMPLING(D 1) */
/* YMMDDHH24MISS */ *
  from emp E, dept D
  where E.deptno = D.deptno and E.empno = 1;

@?/rdbms/admin/utlxpls.sql
```

PLAN_TABLE_OUTPUT

Plan hash value: 2385808155

Id	Operation	Name	Rows	Cost
0	SELECT STATEMENT		1	2
1	NESTED LOOPS		1	2
2	TABLE ACCESS BY INDEX ROWID	EMP	1	1
* 3	INDEX UNIQUE SCAN	PK_EMP	1	0
4	TABLE ACCESS BY INDEX ROWID	DEPT	2	1
* 5	INDEX UNIQUE SCAN	PK_DEPT	1	0

Predicate Information (identified by operation id):

- 3 - access("E"."EMPNO"=1)
- 5 - access("E"."DEPTNO"="D"."DEPTNO")